



令和 7 年度茨城県当初予算案

令和 7 年 2 月





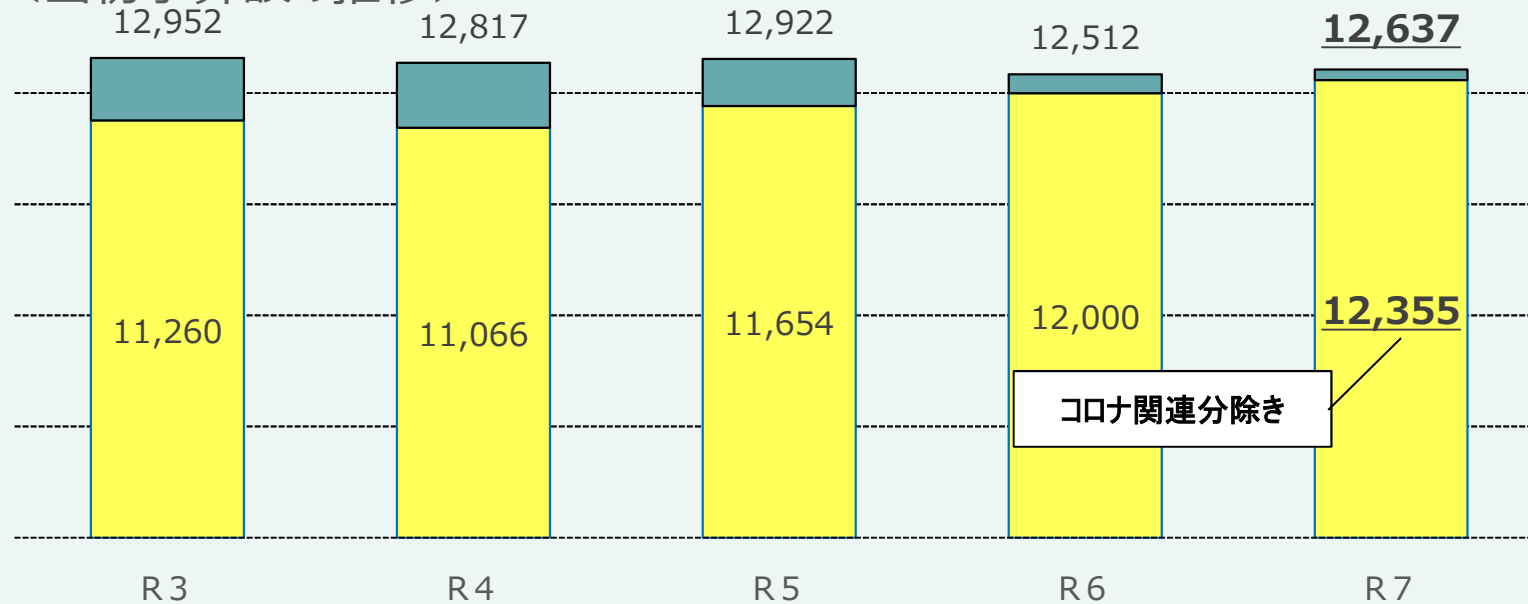
予算規模

一般会計予算額 1兆2,636億9,400万円

(対前年度比 + 125億400万円 + 1.0%)

※ 新型コロナウイルス感染症関連分を除くと、過去最大規模

＜当初予算額の推移＞





予算編成の基本方針・経済の好循環に向けた緊急対策



人口減少時代の「新しい茨城」づくり

経済の好循環に向けた緊急対策（一部 R 6 最終補正対応）

・賃上げ支援、処遇改善、物価高対策

「新しい茨城」づくりへの挑戦

- | | |
|----------------------|---------------------|
| I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ | II 「新しい安心安全」へのチャレンジ |
| III 「新しい人財育成」へのチャレンジ | IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ |

経済の好循環に向けた緊急対策

- ・ 物価上昇を上回る賃上げに向けて、賃上げに取り組む事業者への支援、 価格転嫁を促すための啓発を実施。
- ・ 保育、介護、障害福祉施設職員の処遇改善や、経営改善に取り組む交通事業者の取組を支援。
- ・ 物価高対策として、価格転嫁が困難な医療・福祉施設や学校への支援、L P ガス料金の軽減等を実施。



「4つのチャレンジ」の主な施策 ①



「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- さらなる企業誘致を推進するため、グローバル企業の旗艦シップ（主力）拠点の誘致に向けて、最大100億円に補助メニューを拡充。
- インドの教育機関と連携した日本語講座の運営、介護事業者をはじめ県内企業の海外現地視察の実施などにより、優秀な外国人材を確保。

<これまでの取組・成果>

- ▶ 1人当たり県民所得が、東京都・愛知県に次ぐ全国第3位に（2021年度）
- ▶ 戦略的な企業誘致により、県外企業立地件数が7年連続全国第1位

経済力のある豊かな
茨城づくりを推進！

「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 耐震基準を満たさない木造住宅の耐震化への支援、流域治水対策のための田んぼダム整備の促進により、防災対策を強化。
- 歯と口腔の健康づくりのため、むし歯予防に効果のあるフッ化物洗口について、就学前や小学校における取組を支援。

<これまでの取組・成果>

- ▶ 最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科を選定し、目標とした20名の必要医師をすべて確保
- ▶ 防災・減災のため、ソフトとハードの両面で対策を行い、インフラ整備を推進するとともに、洪水ハザード内の住民を対象とした避難訓練を実施

医師確保により
政策医療提供体制を強化！



「4つのチャレンジ」の主な施策 ②



「新しい人財育成」へのチャレンジ

- ・ 不妊治療のうち、保険適用外となる先進医療に対して支援。
- ・ より専門性の高い人材を育成するため、県立中央看護の4年制化や県立IT短大の大学校化を推進。
- ・ 児童生徒の長距離通学の解消に向け、（仮称）神栖特別支援学校を整備。
- ・ 日本語指導が必要な外国人児童生徒が多い公立学校へ指導員を配置。

<これまでの取組・成果>

- ▶ 県立として全国最多の中高一貫教育校を13校設置
- ▶ パートナシップ宣誓制度の自治体間連携を推進し、19府県153市町に連携を拡大

魅力ある教育への
改革を推進！

「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- ・ 県北の地域資源を活かした新たなアウトドアスポーツイベントの開催や、茨城DCのレガシーを活かしたプロモーションの展開などにより、国内外からの誘客を促進。
- ・ 海外販路開拓にチャレンジするものづくり企業を伴走支援。

<これまでの取組・成果>

- ▶ 本県情報のメディア掲載による広告換算額は、2016年度（知事就任前）と比較し約3倍に増加
- ▶ 農産物の輸出額は、2016年度（知事就任前）と比較し約13倍に拡大

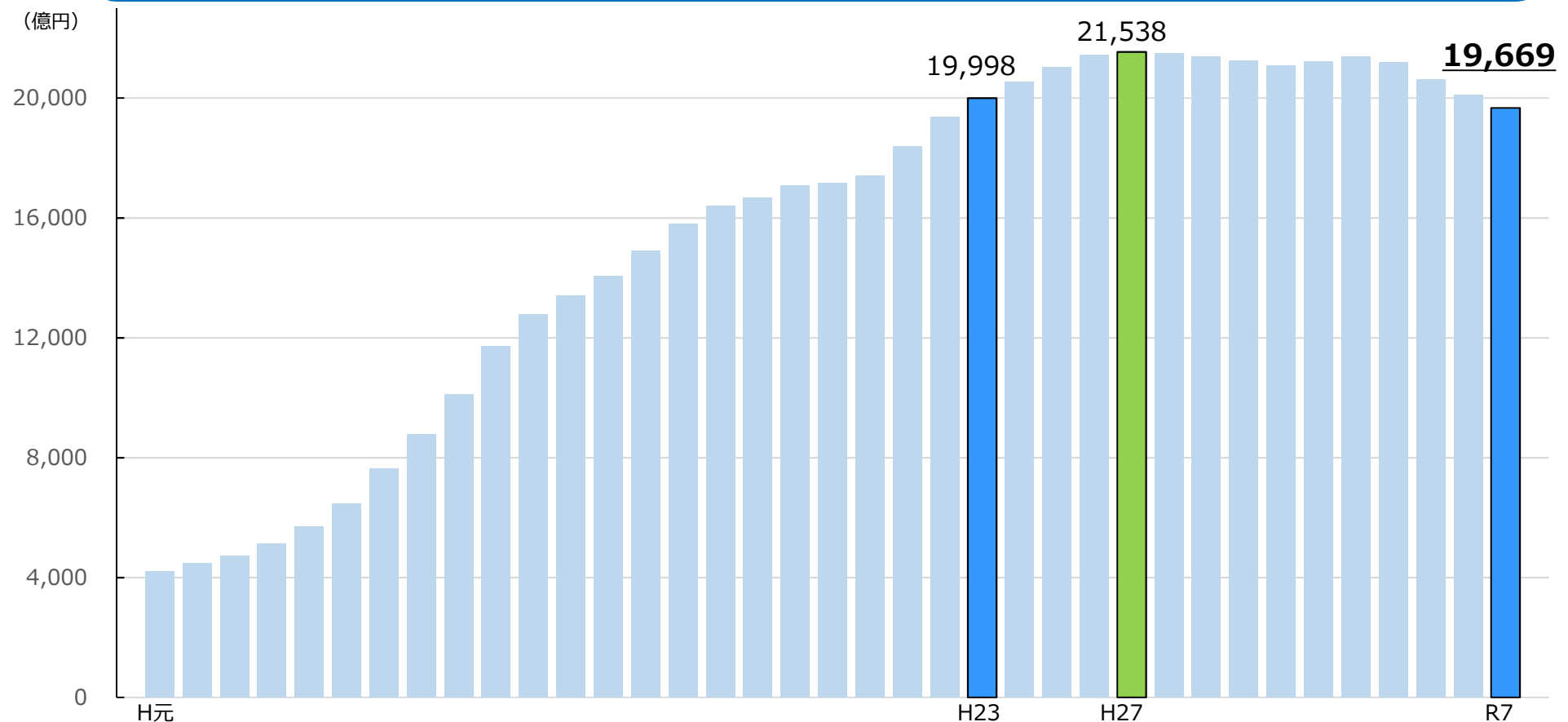
人口減少による国内需要の
縮小を見据え輸出に注力！



財政健全化に向けた取組 <県債残高の縮減>

県債残高（R7年度末見込） 1兆9,669億円
(対前年度比 ▲419億円)

2兆円を下回るのは、14年ぶり（H23年度以来）



※R5までは決算額、R6は最終補正予算時見込額、R7は当初予算時見込額



財政健全化に向けた取組 <県債発行額の抑制>

県債発行額は、R4年度以降 4年連続で減少 ※当初予算ベース
800億円を下回るのは、32年ぶり（H5年度以来）

